

会 議 録 (要旨)

会議の名称	第 8 回本荘まちづくり協議会
開催日時	平成 29 年 3 月 22 日(水) 午後 3 時から午後 4 時 30 分まで
開催場所	由利本荘市役所 正庁
出席者氏名	別紙名簿のとおり
欠席者氏名	別紙名簿のとおり
会議次第	
1. 開 会	
2. 企画調整部長あいさつ	
3. 会長あいさつ	
4. 案 件	
(1) 市からの連絡事項	
①ねんりんピック秋田 2 0 1 7 について	
②公立保育園民営化と地域資源を活かした新しい産業の育成事業について	
③鳥海山・飛島ジオパークについて	
(2) 平成 29 年度主要事業・予算説明について	
(3) 次回の全体会の開催時期について	
5. その他	
6. 閉 会	
会議の経過	別添のとおり

第 8 回本荘まちづくり協議会出欠名簿

(敬称略)

(委員)

役 職	氏 名	備 考
委員	佐々木 武	
会長	渡辺 義弘	
委員	荘司 仁	
委員	田口 愛子	欠 席
委員	甫仮 貴子	
委員	鈴木 久夫	欠 席
委員	岡部 五一郎	欠 席
委員	三嶋 一子	欠 席
委員	川津 利幸	
委員	小野 秀一	
委員	熊谷 すが子	欠 席
委員	佐々木 昌喜	
委員	原田 礼子	
委員	阿部 里美	

役 職	氏 名	備 考
委員	鈴木 賢幸	
委員	佐々木 真理子	欠 席
委員	佐藤 知	欠 席
委員	石川 邦男	
副会長	小石 裕英	
委員	鈴木 容子	欠 席
委員	成田 弘美	
委員	三浦 弘吉	欠 席
委員	嶋崎 真仁	欠 席
委員	猪股 和子	
委員	縄野 博美	
委員	吉田 隆	
委員	猪股 新悟	

(市側)

所属・役職	氏 名	備 考
企画調整部長	佐藤 光昭	
地域振興課長	滝野 由紀夫	事務局
自治振興班長	菅野 基	事務局
主 査	長澤 辰徳	事務局
主 任	高橋 香奈子	事務局

第 8 回本荘まちづくり協議会（要旨）

平成 29 年 3 月 22 日(水)

午後 3 時 00 分開会

午後 4 時 30 分閉会

開会（進行：地域振興課 滝野課長）

ただ今より第 8 回本荘まちづくり協議会を開会いたします。

開会に先立ちまして、企画調整部長の佐藤がごあいさつを申し上げます。

佐藤企画調整部長

企画調整部長の佐藤でございます。

本日は、年度末で大変お忙しい中、ご出席をいただき、本当にありがとうございます。

また、日頃から市政の推進に対し、ご理解とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

本荘まちづくり協議会ですが、これまでに 3 つの部会編成により、それぞれのテーマごとに、市政に対する提言の検討や、実践的な活動を見据えた自主的な活動を展開いただいておりますことに、感謝申し上げます。

住みよいまちづくりを進めるためには、やはり地域資源をよくご存じの市民の皆様の活動が、なによりも一番の大きな力になります。

市といたしましても、そうした活動を支援しながら、皆様とともにまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、引き続き、活発な協議会活動をよろしく願いいたします。

このあと、市からの報告事項のあと、新年度の主要事業と、予算の概要を説明させていただきますので、今後とも、地域の発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げ、あいさつといたします。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

滝野地域振興課長

続きまして、渡辺会長より、ごあいさつをお願いしたいと思います。

渡辺会長

こんにちは。だいぶ暖かさを感じるようになってきました。

本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。

皆様には、各部会におきまして、それぞれで活発な検討をしていただいておりますことに、感謝申し上げます。

今日は、市のほうから連絡事項と、新年度予算や事業の説明をしていただきますが、

市の取り組みを踏まえながら、この協議会活動をいろいろな視点から考えていければと思っております。

私たちにできることを提言や実践活動などの形にしながら、活動を充実させてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

滝野地域振興課長

ありがとうございました。

本日の資料とスケジュールを確認させていただきます。

(配布資料、スケジュール確認)

議事に入ります前に、由利本荘市まちづくり協議会条例第7条第2項の開催要件に関する報告をいたします。本日の出席委員の皆さまは、現時点で17名でございます。委員総数27名の二分の一以上でございますので、開催要件を満たしている事をご報告いたします。

それでは、協議に入らせていただきます。

進行は、由利本荘市まちづくり協議会条例第7条第1項の規定によりまして、渡辺会長にお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

渡辺会長

しばらくの間、進行を務めさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

では、次第の4の(1)の①、「ねんりんピック秋田2017」について、説明をお願いいたします。

※【長寿支援課ねんりんピック運営班（齋藤祐介主査）説明】

渡辺会長

ありがとうございます。

ただいま、説明がありましたが、皆様から質問やご意見などを伺いたいと思っております。

(質問なし)

渡辺会長

ございませんか。ないようですので、次に、次第の4の(1)の②、「公立保育園民営化と地域資源を活かした新しい産業の育成事業」について、説明をお願いいたします。

※【保育園民営化・地域資源を活用した遊び推進事務局（大場ひろみ事務局長）説明】

渡辺会長

ありがとうございました。

ただいま、説明に対しまして、皆様から質問等ありませんでしょうか。

A 委員

おもちゃ美術館について、旧鮎川小学校は国の文化財になっていますが、文化庁とやりとりはしていますか。文化財なので建物の外部はそのままということでしたが、内部に食堂は無理にしても、売店のような集客施設を整備することは可能ですか。

また、由利高原鉄道が踏切のところに駅を作るという話を聞いたことがあるのですが、その話はどのあたりまで進んでいますか。

大場事務局長

昨年の春に、文化庁から審査官に来ていただいて、中を見ていただきました。最近の傾向として、あるがままに保存しておくよりも、使っていただいていた文化財という方向にシフトしてきているというお話でした。

もちろん外観はそのままですし、中のほうも、壁を抜いたりはしませんが、棚を置くなどをして、お土産を売るトイショップや、調理室を利用して軽食を摂ることができるカフェルームがやれないかを検討しているところです。

由利高原鉄道の駅については、由利高原鉄道とも協議していますが、一番近くに駅があればよいのですが、線路に勾配があること、すぐ近くに踏切があること、曲がっていることなどの問題がありまして、由利高原鉄道と国交省との間で話を詰めているところです。

もし、駅ができなかったとしても、集客のために、鮎川駅からのシャトルバスや、近くの河川敷を駐車場として整備することを検討しております。

渡辺会長

ありがとうございました。(A 委員、) よろしかったでしょうか。

私のほうからも一言、おもしろそうなおもちゃがたくさんできそうなので、たのしみにしております。

他にありませんか。ないようですので、次に、次第の 4 の(1)の③、「鳥海山・飛島ジオパーク」について、説明をお願いいたします。

※【総合政策課（栗林公一郎主査）説明】

渡辺会長

ありがとうございました。

ただいまの説明に対しまして、皆様から質問やご意見などを伺いたいと思います。

渡辺会長

話が少しづれるかもしれませんが、県外からバイクや車で訪れた旅行客から、この地域に無料で車やバイクを置ける場所（オートキャンプ場）がなく、ほとんどが有料で来にくいという話をききました。せっかくのジオパーク認定ですので、そのような整備を検討できないものでしょうか。

栗林主査

ジオパークでは、観光客の受け入れ体制の整備ということで、看板やジオガイドなどのいわゆるソフト面での事業を進めて行くこととなりますが、今後ジオパークで全国規模の大会などが開催されるとなれば、泊まる場所や駐車場がなければいけませんので、時間はかかる

かもしれませんが、整備を進めていきたいと考えております。

渡辺会長

はい、よろしく申し上げます。他に、皆様から何かありませんか。

A 委員

鳥海山・飛島ジオパークは、本荘から酒田までと、エリアが広すぎますよね。東北で 2 番目に高い鳥海山をもっと売り込む形がよいのではないのでしょうか。

それと、ふるさとに賑わいを作るような、地域の資源を活用したお土産品やその宣伝に力を入れるべきではないですか。

栗林主査

ジオパークの範囲が広いというのは、他でもけっこう言われますが、日本ジオパークの中には山陰海岸などかなり広範囲なジオパークもありまして、要は PR の仕方なのだと思います。鳥海山だけですと 60 万年前ですが、飛島も入れると日本海や列島形成に関わるもっと古い年代からの魅力を PR でき、鳥海山・飛島ジオパークの魅力を深められるということで広範囲となっております。

お土産の件ですが、さきほどもご説明しましたが、ジオスイーツというお菓子も、今開発しています。コンテストで最優秀賞をとったジオスイーツは、歩きながら食べられるように工夫されています。今後も市民の皆様のご協力をお願いします。

渡辺会長

ありがとうございます。他にないでしょうか。ないようですので、以上で市からの連絡事項についての説明を終わらせていただきます。ここで、3 時 45 分まで休憩を取りたいと思います。

協議を再開します。

次に、4 の(2)、平成 29 年度市主要事業・予算について、よろしく願いいたします。

※【事務局（長澤主査）説明】

渡辺会長

ありがとうございます。

ただいま、ご説明がありましたが、皆様から質問等ございましたら発言をお願いします。

B 委員

インターバル速歩体験者への地元食材活用推進とはどういった事業でしょうか。

長澤主査

こちらは、健康の駅ネットワークとして始まった事業で、その中で平成 29 年度はインター

バル速歩の普及に力を入れていくというふうに伺っていますが、ご質問いただきました地元食材活用の事業の内容については申し訳ありませんが、お調べしてのちほどお知らせいたしますのでご了承ください。

渡辺会長

よろしく申し上げます。他にありませんでしょうか。

A 委員

臨時福祉給付金は国からのお金ですよ。市が予算計上するというのは、市が払ったということではないですよ。

長澤主査

そのとおりです。一人 15,000 円の給付金の経費は市が負担しているのではなく、国から出ています。

A 委員

ということは、国に戻し入れるんですか。

滝野課長

国から経費が出ているのですが、一旦市で収入して、それを対象者にお支払いすることになります。

A 委員

戻し入れるんですよ。国に対して。6 千万ですよ。

渡辺会長

すいません、いいでしょうか。市でこれぐらい必要だろうと予算を組んで、それに対して国から入ってくる。そういうことだと思います。これに限らず国からの補助金は全部そういう形だと思います。

A 委員

では、市の持ち出しはないということでよいのですね。ありがとうございました。

あと、地域振興課の関係ですが、細かな資料はないのでしょうか。我々まちづくり協議会として様々な事業をやっているわけですよ。そのへんの関連事業はないのでしょうか。第 3 部会でも予算化してもらっていますし、そういうのを、おおまかではなく、細かなものを出すことは難しいですか。非公開のものであればしょうがないのですが、ある程度こう。

滝野課長

ご質問いただいているのは、地域づくり推進事業の内訳を、細かな事業の内容までということでしょうか。

A 委員

もし分かればということで。我々も第 3 部会として予算計上してもらってるのですが、どこに含まれているのか見えないんですよ。

滝野課長

7 番の地域づくり推進事業ですが、本荘地域については 500 万円の予算枠で、2 月に事業を募集して 3 月に審査をしたうえで、平成 29 年度の事業を確定しているということです。この内訳については、お出しすることができますので、必要であればのちほど対応いたします。

A 委員

わかりました。我々の事業として行っていることは 7 番に含まれているということですね。

滝野課長

はい。

渡辺会長

よろしいでしょうか。他にありませんでしょうか。

C 委員

新年度は、各種団体に対する補助金が一律で 5 %カットになったと聞いておりますが、この地域づくり推進事業補助金の本荘地域に 500 万円というは削減になっていないでしょうか。

滝野課長

前年と同様の額で、減っておりません。

C 委員

そうすると、これは、当分続くと考えてよろしいでしょうか。

滝野課長

財政的な部分も出てくると思いますが、地域振興課としては、地域の活性化に向けてみなさまが活動されておりますので、支援するために、これからも要求をしていきます。

C 委員

町内会、自治会げんきアップ事業は昨年と同じ内容でしょうか。

滝野課長

町内会、自治会げんきアップ事業については、昨年と同様で、まち歩きなどを通して町内会、自治会への支援をこれまでどおり行って参ります。

C 委員

もう一つあるのですが、商工関係なのですが、店舗の改修、リフォームの補助金の平成 28 年度の実績額はいくらでしょうか。

滝野課長

申し訳ございません。商工関係の細かい部分についてこちらで把握しておりませんので、お調べして後日お知らせします。

渡辺会長

他にありませんでしょうか。

B 委員

質問ではなく意見なのですが、一つはエネルギーの地産地消についてなのですが、市ではどのくらい考えているのかと思うんですけど、起業しやすい環境っていうのは大事じゃないかと思うんです。例えば大きな事業にならなくてもアルバイト程度に収入が入る仕組みとかを推進してもらえれば、できそうなこととしては小規模林業が挙げられると思うんですが、森林が 7 割ということで、薪ボイラーをぜひ導入してもらいたいと思っています。コストのかからない薪ボイラーを公共施設に入れていただいて、山に関わる人を増やして森林の保全などをしてもらえればと思います。導入には石油よりも 2 倍のコストがかかると言われてはいるんですが、初期投資が高くても導入していくべきだと思います。そしてお金が回っていくようになれば地域の活性化にも繋がると思います。他には牛の糞尿や食物残渣からのエネルギーっていうのもやっているところもありますので、そういうのをぜひ進めていってほしいと思います。他ではできて、なんで由利本荘市ではできないのかということがけっこうあります。ゴーサインを出す立場の人が他県のほうに視察に行って現場に足を向けてもらえれば変わってくるのではないかと思います。私は急がないといけないと思うのですが、行政との緊迫感のギャップをいつも感じます。

渡辺会長

ありがとうございます。地域の活性化につながるエネルギーの地産地消を検討していただきたいということなのですが。

滝野課長

今いただいた意見ですが、こういうことがまちづくり協議会の中で揉まれて、市への提言として出していただくことが、進んでいく手立てなのかなと考えます。今日いただいたご意見は担当レベルではお話はできるのかなと思います。

C 委員

エネルギーの地産地消というのはみなさん関心の高いことなので、提言させていただきたいと思います。持続可能な形を作っていくといけないので、一刻も早く手をつけてほしいと思います。

あともう一つ言わせていただければ、女性が静かだと思います。若い女の人も含めて、女性がいろんなことを言える立場、意見を活用できる仕組みづくりをしていただきたいと思います。これも提言させていただきます。

渡辺会長

ありがとうございます。今、C委員から提案がありまして、市のほうから、まちづくり協議会で提言されたらどうかというお話がありました。個人として言うよりも、まちづくり協議会として提言したほうが大きな力になると思います。地域の活性化や雇用の創出に繋がることですので、今後、部会もまだありますし、ぜひご検討されたらよいと思います。

よろしいでしょうか。ほかにないでしょうか。

活発なご意見ありがとうございました。

ここで、平成29年度市主要事業・予算の説明を終わります。ありがとうございました。

次に、次第の4の(3)、次回の全体会の開催時期について、事務局からお願いします。

長澤主査

当協議会の開催スケジュールによりますと、次回の全体会は、6月に開催となっております。内容は「活動のまとめ」としており、全体で集まるのは、予定としては、これが最終回となりますので、各部会におかれましては、これまでの活動報告として、まとめていただければと思います。全体会は毎回、月の下旬に開催しておりますので、6月も下旬の開催になる予定です。

渡辺会長

ただいま事務局より説明がありましたが、皆さん何かご意見ありますでしょうか。

6月の最終の全体会ですが、順調に行けばここで終わって7月に提言書を出すという流れになります。ただ、各部会の状況によっては6月に終わるのでなくて、7月にもう一回やろうことになりうかと思えます。

私自身としては、今この場で決めるのではなくて、6月に全体会で様子を見て、7月にやるかどうかを決めたらいいのではないかと思います。これについて意見ありませんか。

(意見なし)

意見がないようですので、それでは、6月の全体会の内容次第で7月も開催するか決めるということにします。

それでは、次第の5、その他でございますが、皆様からほかにご意見などございましたら伺いたいと思います。なにか、ございますか。

(意見なし)

なければ、以上で、本日の協議をすべて終了いたします。どうもお疲れ様でした。

事務局お願いします。

滝野課長

長時間にわたり、大変ありがとうございました。

皆様には、本日も説明させていただいた平成 29 年度主要事業・予算概要を、今後の活動のご参考にしていただき、様々な角度から、引き続き、市政推進にご協力をお願いいたしたいと思えます。

以上、第 8 回本荘まちづくり協議会を終了いたします。